

入稿データの 注意点

ご注文から納品までの流れ

※メールでご注文を希望される方は、公式HPの店舗一覧より、最寄り店舗のメールアドレスへお問い合わせください。



1

店頭受付

サイズや枚数等ご注文内容をお伺いします。この際に入稿データもお持ちください。データ作成をご希望の場合はラフや原稿等をお持ちください。



2

お見積り・データチェック

伺った内容からお見積りと納期をご提示致します。また、入稿データに不備が無いかチェック致します。



3

お支払い・校正

お客様からのご入金確認が出来ましたら、いよいよ制作作業に入ります。校正(印刷イメージ)をご確認頂き、問題が無ければ印刷に移ります。



4

印刷作業・検品

データが確定しましたら印刷を行います。仕上がったお品物に異常がないか・ご注文内容と相違が無いか検品致します。



5

店頭でお渡し・または発送

店頭でお品物をお渡し致します。ご指定の場所へ発送(別途送料)することも可能です。

入稿データお持ち込み方法

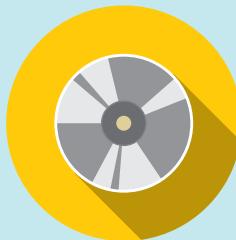
1 USB や DVD、SD カード等のメディアで入稿

USB等のメディアに印刷に使用するデータのみを入れて店頭までお持ちください。その場でデータを確認致します。

※入稿データは事前に必ずバックアップをご用意頂いた上でお持ち込みください。



USB



DVD



SDカード

2 メールに添付して送信・またはデータ転送サービスで入稿

入稿データを直接メールに添付してお送りください。データが複数ある場合は、zip形式にまとめてお送りください。

また、10MBを超えるような容量が大きいデータの場合は、「ギガファイル便」「firestorage」等のデータ転送サービスをお使いください。

※データ転送サービスの操作方法について、個別のご案内はしておりません。ご了承ください。

複数のファイルをメールで送る時

入稿データ・確認用画像等、ファイルが複数ある場合は、一つのフォルダにまとめてzip形式 (.zip) に圧縮してからお送りください。



対応アプリケーション

推奨ファイル形式



Adobe PDF形式での入稿を推奨しています。

また、オンデマンド印刷では上下左右に5mm程度の白フチが出ます。

白フチ無しでの印刷をご希望の場合、仕上がりサイズより上下左右に+3mm程の塗り足しを入れてください。端ギリギリまで配置されたデザインは、断裁時に切れる恐れがあります。切れて困る絵柄や文字は仕上がりサイズより内側5mmに収めてください。

(例:仕上がりがA4(W210×H297mm)の場合→W216×H303mmでデータ作成)

その他対応ファイル



Adobe Illustrator・Photoshop
(どちらもCCまで対応)

カラー モードはCMYK、解像度は
300dpi程度に設定してください。



Microsoft Office系ソフト (Word / Excel / PowerPoint)

使用環境の違いによる文字化け、表・改行のズレ、画像の変形等が
起こる可能性があります。[PDF変換](#)した上でご入稿ください。

レイアウト崩れの恐れ

色味がくすみます



JPG・PNG等の画像形式

画像解像度が300dpi以下の場合は
綺麗に印刷できません。

画質が粗い恐れ

色味がくすみます



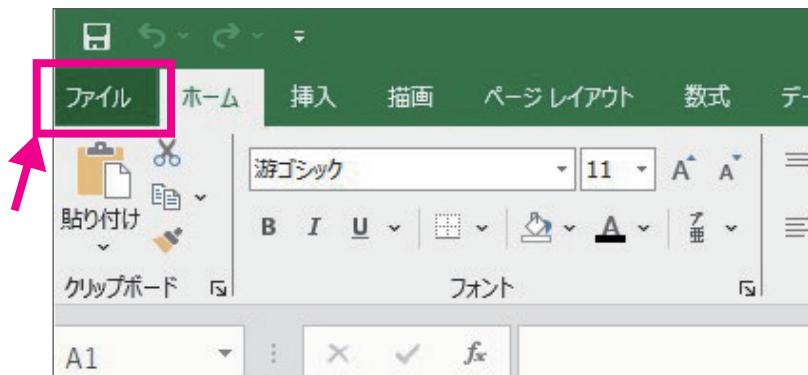
「Canva」で作成したPDF入稿の場合

PDF保存の際に「PDF (印刷)」を選択し、**トリムマークと塗り足しを付けて保存**してください。塗り足しがない場合は白いフチが付いた状態での印刷になります。

Canvaで作成したデータは、Microsoft Office系ソフトと同様に、カラー モードがRGBで設定されている為、スマートフォンやPCモニターで見るよりもくすんだ色味で印刷されます。ご了承ください。

Microsoft Office系ソフトの PDF保存方法

※Word / Excel / PowerPoint共通の保存方法です。

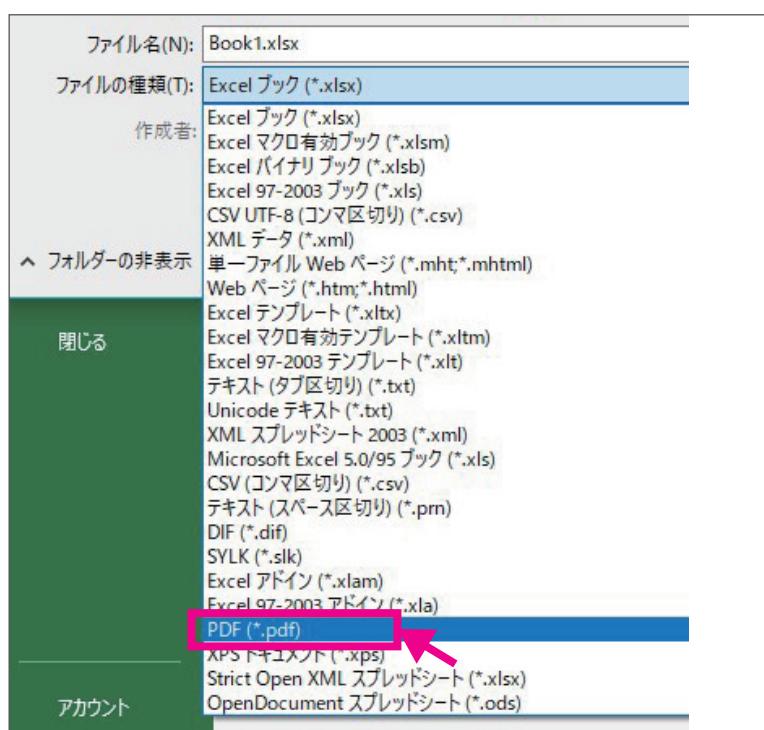


1 「ファイル」を選択します。



2 左側のメニューから「名前を付けて保存」を選択します。

※Adobe Acrobat DCをインストール済みの場合はこの左メニュー内に「Adobe PDFとして保存」が表示されますので、そちらから保存してください。



3 保存場所を決めたら、ファイルの種類から「PDF」を選択して保存してください。

4 文章や図・表のレイアウトなど、内容が元のOfficeデータと同じ状態で書き出されているか、よく確認してからご入稿下さい。

⚠ ご注意ください ⚡

データご入稿の前に、このチェックリストの内容を必ずご確認ください。

ご入稿されたデータに何らかの不備がある場合、印刷工程に進むことが出来ない為、データの修正と再入稿をして頂く必要がございます。

再入稿後、再度データチェックを行う都合上納期もその分ずれ込みますのであらかじめご承知おきください。



データは正しいサイズで作成されていますか？



ご注文頂いた仕上がりサイズと入稿データのサイズが一致しているかご確認ください。

ご注文のサイズと入稿データのサイズに差異がある場合は印刷作業に移れません。



トリムマーク(トンボ)は作成されていますか？



Illustratorでの入稿データは必ずトリムマーク(トンボ)を付けてください。

トンボの線の色は「レジストレーションカラー」(トンボ作成時に設定されている色)以外に
変えないでください。



塗り足しは正しく作成されていますか？



仕上がりサイズより上下左右に +3mm の塗り足しが
作成されていない場合、印刷時や断裁時のズレによっ
て紙の地色(余白)が出てしまいます。



断裁時のズレが生じても
紙の地色が出る事はない



断裁時のズレによって
紙の地色(白い部分)が出てしまう



文字やオブジェクトは端ギリギリに配置されていますか？



仕上がり位置の端ギリギリまで文字やオブジェクトが配置されていると、断裁時のズレによっ
てそれらが切れてしまう恐れがあります。切れて困る文字やオブジェクトは、仕上がりサイズ
より5mm以上内側に配置してください。

入稿データチェックリスト

ご入稿前に必ずご確認ください



カラー モードは CMYK で作成されていますか？



カラーの入稿データは必ず **CMYK モード** で作成してください。

RGB モードは印刷に適さない為、仕上がりの色味はモニター上で見るものよりくすんでしまいます。リンク画像のカラー モードについても CMYK に設定した上でお作りください。



フォントは全てアウトライン化されていますか？



Illustrator での入稿において、フォント情報が残った状態でご入稿されると、別のフォントに置き換わってしまったり、文字化けや位置のズレが発生してしまいます。全てのテキストにに対して必ず **アウトライン化** をしてください。



リンク切れは起こっていませんか？



リンク切れが起きると画像が抜け落ちてしまい、正しく印刷ができません。**リンク画像は必ず入稿データと同じフォルダ** に入れてください。もしくは **画像の埋め込み** を行ってください。リンク画像のファイル名を変更してしまうとリンクとして認識されなくなる為ご注意ください。



罫線の太さは全て 0.3pt 以上に設定されていますか？



あまりに細すぎる線はかすれで印刷されてしましますので、必ず **0.3pt 以上** に設定してください。また、「ヘアライン」状態を避ける為、**塗りの色は「なし」** に設定してください。

直線ツールやペンツールで引いた線に「塗り」だけが設定されている場合、モニター上では線として表示はされますが、実際の印刷には反映されません



確認用の画像データ(カンプ)又はPDFを同梱していますか？



印刷内容に不備がないかどうか照らし合わせて確認する為、出力見本画像として必ず確認用の画像データ（スクリーンショット等）をお付けください。jpg 又は PDF でご用意ください。
※ご入稿データの文字校正は承っておりません。



不要なレイヤー、オブジェクトが残ったままになっていますか？



印刷内容に関係の無い不要なレイヤーや、アートボード外等に残っている余計なオブジェクトは削除してください。「隠す」や「ロック」機能を使用した場合は必ず「**全てを表示**」「**全てをロック解除**」を行ってください。

よくあるデータ不備内容

塗り足しが無い

塗り足しが無いと綺麗に断裁することが出来ない為、白フチ有りの状態での納品になります。

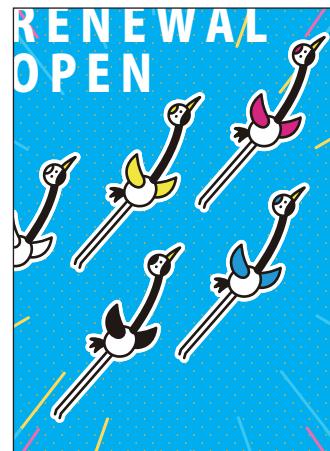
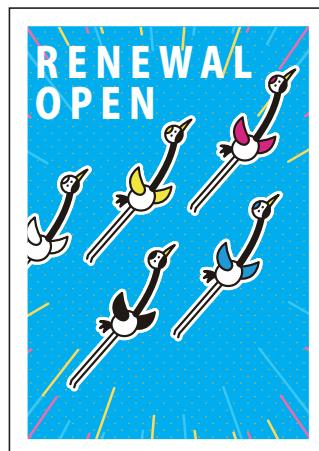
白フチ無しでの印刷をご希望の場合は、必ず塗り足しを作成してください。

「塗り足しの作成は出来ないが、白フチ無しでの印刷を希望」の場合は、データを全体的に拡大して塗り足しを作る、という対応になります。

なお、端の方に配置された絵柄などは切れてしましますのでご了承ください。



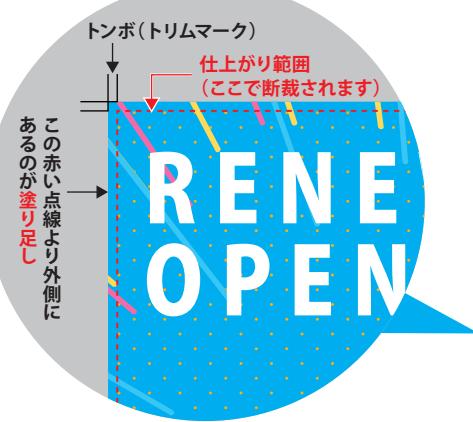
塗り足しが
無いと……



仕上がりサイズ丁度で作成された為、
塗り足しが無いデータ

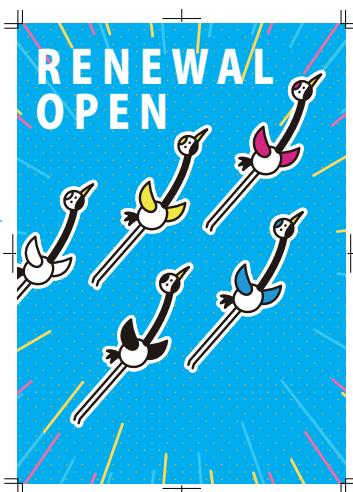
周囲5mm程度に白フチができます

データを拡大して塗り足しを
作る場合は端のデザインが切れます

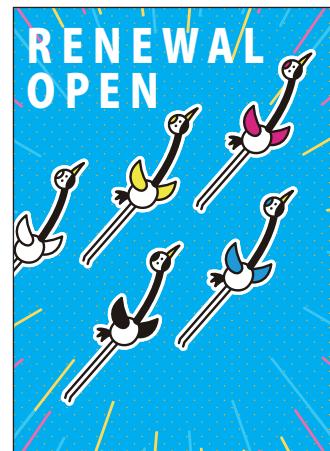


仕上がりサイズよりも
上下左右に+3mmずつ
大きくデザインしてください。

※例:A4(210×297mm)仕上がりなら
216×303mmでデータ作成



塗り足しがあれば
白フチ無しで
綺麗に断裁！



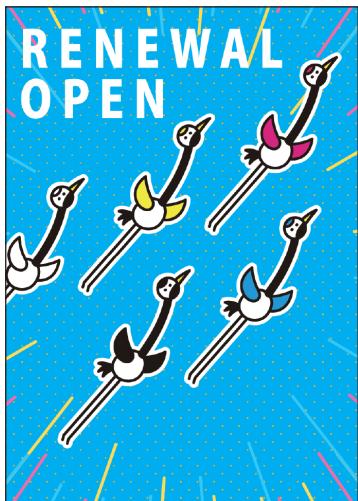
塗り足しがあるデータ

本来の仕上がりイメージ

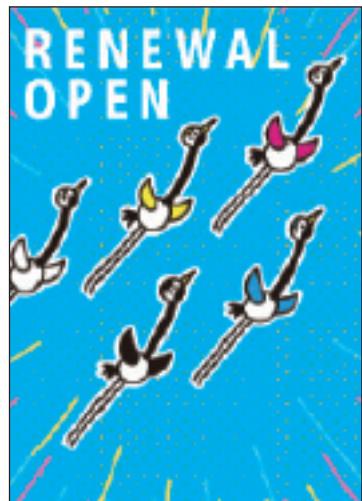
よくあるデータ不備内容

☒ 画像の解像度が低い

JPG・PNG等の画像形式で入稿される場合、解像度が300dpiより低いデータ・もしくはデータの容量が小さすぎるものだと綺麗に印刷することができません。



適切な解像度で作られたデータ

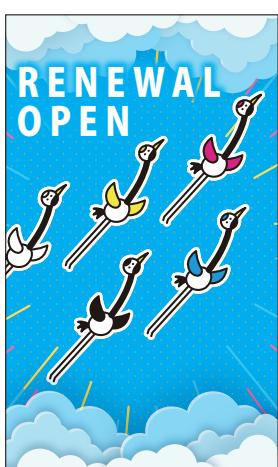


画像が粗くなります

解像度が低いデータ

☒ 仕上がりサイズで作成されていない

入稿データのサイズが、仕上がりサイズ(+塗り足し)で作成されていない場合、仕上がりサイズに調整した上で印刷に進みます。その際、入稿データと仕上がりサイズの縦横比が異なると、余白が出ることがあります。余白無しをご希望の場合は、余白が消えるまでデータを仕上がりサイズに拡大して印刷する為、デザインの一部が切れてしましますのでご了承ください。



例

A2サイズでご注文された入稿データ

A2サイズに比べて縦長データなので…



デザイン全てを収めると上下or左右に余白が出来ます

仕上がりサイズに合わせて拡大するとデザインの一部が切れます



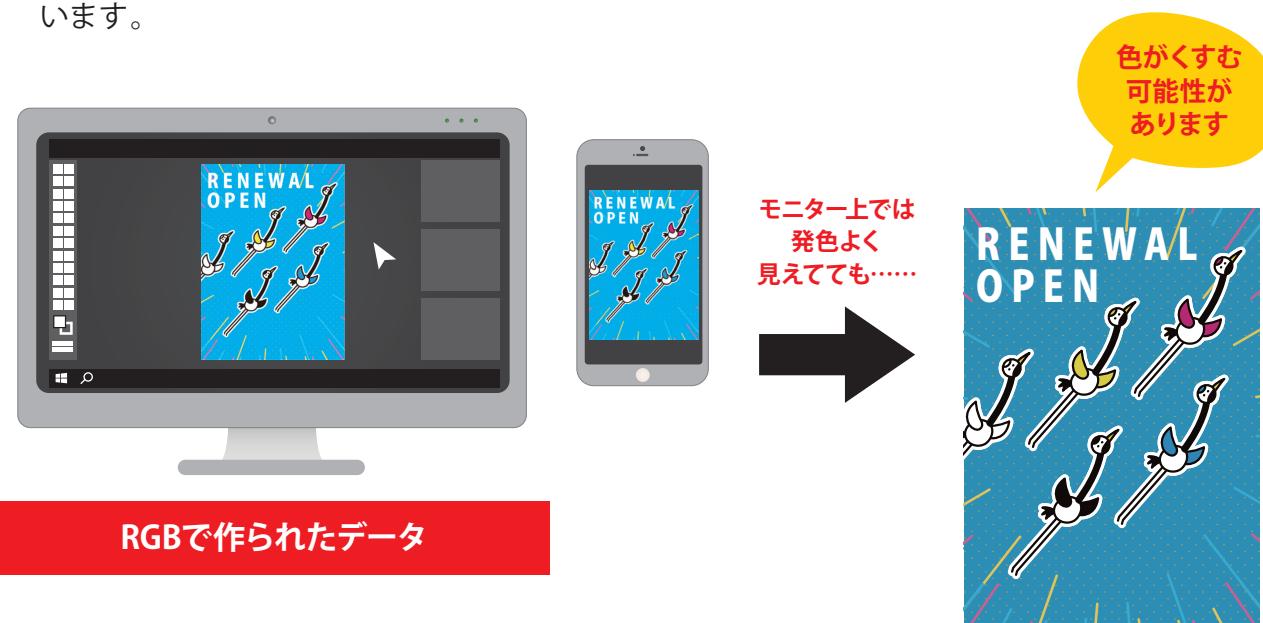
よくあるデータ不備内容

☒ カラーモードが RGB で作られている

RGBはデジタル表示用(モニター上で見る時の色)のカラーモードです。Illustrator、Photoshopでの入稿データは必ずCMYKでお作り下さい。

Microsoft Office系ソフトで作成した場合は、RGBのままでも入稿は可能ですが、印刷の過程で強制的にCMYKに変換される為、鮮やかな色や明るいトーンは再現できません。例えば、RGBの青や赤は、モニターで見ていた時よりも淡くなったりくすんだりすることがあります。

※Microsoft Office系ソフトは元々印刷用のデータ作成ソフトでは無い為、初めからRGBになっています。



☒ 入稿データの容量が大きすぎる

入稿データの容量が大きすぎる場合、データの破損や、開くまでに時間がかかってしまったり、データ送信が正常に出来ないといったトラブルに繋がるため、**容量はなるべく1GB以内に抑えてください。**

画像が大量に配置されている

画像がリンクではなく「埋め込み」になっている

配置画像の解像度が高すぎる

不要なデータが混在している

複雑なパスが多すぎる